



「おだわら子どもも防災」の方を講師に迎え、ヴェルミ3「にこっと」で、地震が起こった時どのような行動をとれば良いかを考えるカードゲーム“なまづの学校”を行いました。人を助けるにはどの道具を使うと良いか、食料はどのようなものが適しているかなどを考えました。講師から「なぜ、そのカードを選んだのか」「その道具をどのように使うのか」という問い合わせにチームで考えながら回答。子どもたちは自由な発想をしながら、楽しく防災を学びました。



今年度で5年目となる子どもの居場所作り事業“寺子屋”。コロナ感染症の影響もありましたが、今年の夏も、さらにパワーアップしてさまざまなプログラムを実施しました。

※その他予定していた10のプログラムについては、市内での新型コロナ感染症拡大傾向のため中止とさせていただきました。

南足柄でできる体験を、 夏休みだから

夏休み寺子屋



弘西寺の弘済寺で、玉野真永住職の指導の下、作務(掃除)・座禅・写経を体験しました。また、お昼ごはんは弘西寺地域福祉会(古田幸夫会長)の会員の皆さんによる野菜たっぷりのけんちん汁など、お寺ならではのメニューに加え、からあげなどのご飯に舌鼓を打ちました。子どもたちは終始真剣に取り組み、「遊ぶ時も勉強するときも、集中したいときは座禅を組んで気持ちを落ち着かせたい」と話していました。



NPO法人あしがらアートの森の皆さんの指導の下、「県立21世紀の森」の中を自由に歩きながら、森の絵を描きました。先生から絵の描き方のアドバイスをしていたり、自分らしい絵を描くことができました。

